

平成29年度みやぎ地域復興ミーティング

復興の担い手たちの今

共に自立への歩みを進める

震災から6年が経過し、支援団体・地域づくり団体・地域住民等といった復興支援活動の担い手たちは、その活動の地域への引き継ぎや、ミッションの転換など、節目の時期を迎えています。

本会では、復興支援・地域づくり関係者が集い、これまでの活動を振り返りながら、今抱えている課題を参加者同士で共有し、県内外の先進事例から学び合う中で、これからの歩みを進めていくためのヒントを得ることを目的として開催します。

プログラム

第1部 実践報告 復興・地域づくりの現場から

話し手

(特非) JEN 広報・ファンドレイジング部 マネジャー

はまさか みやこ

濱坂 都 氏

(特非) きらりよしじまネットワーク 事務局長

たかはし よしかず

高橋 由和 氏

(一社) ISHINOMAKI2.0 代表理事

まつむら ごうた

松村 豪太 氏

第2部 分科会 学び合いのわ

ー現場の実践知からこれからへのヒントを探る

分科会1 活動を地域へ引き継ぎパートナーシップを組む

アドバイザー (特非) JEN 濱坂 都氏

分科会2 持続可能な地域・人づくりをめざして

アドバイザー (特非) きらりよしじまネットワーク 事務局長 高橋 由和氏

分科会3 地域と共にめざすわたしたちのミッション

アドバイザー (一社) ISHINOMAKI2.0 代表理事 松村 豪太氏

平成29年 10月18日(水) 13:00-16:30

会場 | 河北総合センター ビッグバン 集いの部屋・会議室1・2・3 定員 | 50名

対象者 | 支援団体、地域づくり団体、地域住民、行政 等

主催：宮城県 震災復興・企画部 地域復興支援課 企画・運営：(一社)みやぎ連携復興センター

参加費 | 無料

登壇者プロフィール



はまざか ともこ
濱坂 都氏

(特非) ジェン(JEN)
広報・ファンドレイジング部マネジャー

大学卒業後シンガポールに移住し、PR会社を設立。帰国後2009年より現職。国内外ステークホルダーとのリレーションシップ構築を主に担当。東日本大震災時は、直後より本部物資調達担当、現地事業責任者(石巻)を経て広報担当に復帰。2011年より新潟県十日町市の(特活)地域おこし理事。



たかはし ゆしかず
高橋 由和氏

(特非) きらりよしじまネットワーク
事務局長

山形県川西町吉島地区を中心に地域コミュニティの活性化を推進。行政や企業等との「協働」のパートナーとして、各種委託事業の受託や更なる自治向上を必須として、地域住民の自発的なスキル向上の支援活動と、支え合いの共助サポーター活動を広域的に展開している。



まつむら こうた
松村 豪太氏

(一社) ISHINOMAKI2.0
代表理事

震災時は津波被害にあい自宅も半壊するが、直後から互援撤去や仮設住宅団地のコミュニティ形成など、石巻中央部の復興活動の中心的な役割を担う。現団体発足後は、まちの内外の人々をつなぎ復興に留まらないまちづくりを通じた石巻のバージョンアップを目指す。

交通アクセス

河北総合センター ビッグバン

〒986-0102 宮城県石巻市成田字小塚裏畑 54



《車をご利用の方》三陸道河北ICから：約10分 無料駐車場あり
《公共交通機関をご利用の方》JR石巻駅から路線バス：約45分

参加申込書

WEBからお申し込みの場合

下記 URL から参加申込フォームにアクセスの上、必要事項を入力して送信してください。
<https://ssl.form-mailer.jp/fms/7c5520ca532475>

FAX・メールにてお申し込みの場合

(一社)みやぎ連携復興センター (担当 高橋・西館・石塚)

TEL 022-748-4550 FAX 022-748-4552 E-mail renpuku@gmail.com



所属(団体名)			
TEL		E-mail	
No.	職名	氏名	希望分科会
1			
2			
3			

事前アンケート

1 復興支援・地域づくり活動の中で感じている課題は何ですか。下記表の中から当てはまるもの全てに○をつけてください。

- | | | | |
|--------------------|---------------------|---------------|----------------------|
| 1. 担い手の世代交代 | 2. 地域外人材の呼び込み・活用 | 3. 担い手の育成方法 | 4. 組織・地域のマネジメント (運営) |
| 5. 組織・地域の将来の計画づくり | 6. 資金獲得に向けたノウハウの取得 | 7. 活動・事業の質の向上 | 8. 活動・事業の評価方法 |
| 9. 既存の連携・ネットワークの維持 | 10. 新しい連携・ネットワークの形成 | | |
| 11. その他 () | | | |

2 本会でゲストや他の参加者に聞いてみたいことは何ですか。ご自由にお書きください。

復興をバネにした 持続可能な地域づくり

平成30年

3 / 5 月
13:00-16:30

宮城県の復興・地域づくりの現場では、地域住民・支援者など宮城県内外の多様な担い手によって、震災による逆境をバネにした復興活動・地域づくりが展開されてきました。本会では発展期を見据え、復興支援・地域づくりの担い手が一同に会し、コミュニティ・住民自治・地域資源活用の3つの視点から現場の知恵を分かち合い、着実な発展を推進することを目指して実施します。

対象者 支援団体、地域づくり団体、地域住民、行政、復興支援員、地域おこし協力隊等 定員 60名

プログラム

第1部 実践報告 3名の話し手から学ぶ

大山自治会 前会長

佐藤 良子氏

(報告ポイント)

- 自治会加入率
100%にできた工夫
- みんなが対等に
参画できるしくみ
- 向こう三軒
両隣の見守り



(特非)秋田県南NPOセンター

共助社会づくり担当

八嶋 英樹氏

(報告ポイント)

- 困りごとを
乗り越える共助組織
- 元気な高齢者が活躍できる
仕組みづくり
- 共助組織のネットワーク形成



株式会社 ESCCA

代表取締役

山内 亮太氏

(報告ポイント)

- Next Commons Lab で
目指す持続可能な南三陸像
- 外部人材の
活躍・育成へのヒント
- 今後のプロジェクトの展望



第2部 分科会 現場の知恵から学び合う

テーマ1

全住民参加型の支えあいの仕組みづくり

アドバイザー 佐藤良子氏

テーマ2

共助による明るく元気な地域づくり

アドバイザー 八嶋英樹氏

テーマ3

地域内外の人材で共に創る地域

アドバイザー 山内亮太氏

会場

山元町防災拠点・山下地域交流センター
つばめの杜ひだまりホール

〒989-2208
宮城県五ヶ郡山元町
つばめの杜一丁目8番地



車をご利用の方

常磐自動車道 山元ICから5分
山元南スマートICから15分

公共交通機関をご利用の方

JR常磐線 山下駅から徒歩1分

登壇者プロフィール

みやぎ よしこ
佐藤 良子 氏



大山自治会 前会長

宮城県出身。1999年より自身の住む東京都立川市の大山団地で自治会長として活躍。加入率100%、孤独死ゼロを実現。2004年内閣府男女共同参画局「女性のチャレンジ賞」受賞、2011年地域活動功労者賞を東京都より受賞。全国各地で講演活動も行う。著書に『命を守る東京都立川市の自治会』。

やづし ま ひでき
八嶋 英樹 氏



(特非)秋田県南 NPO センター
共助社会づくり担当

秋田県由利本荘市出身。民間企業に勤務後、2009年より(特非)秋田県南NPOセンターに従事し、インキュベーションマネージャー及び共助社会づくりを担当。県南地区の共助組織の設立などを支援する。地域では横手市自治基本条例市民検討委員会、「雪となかよく暮らす条例」に基づく市民委員会、横手若者会議OB会などに携わる。

やまうち りょうた
山内 亮太 氏



(株)ESCCA 代表取締役

1999年ソニー株式会社入社、テレビの商品企画とマーケティングに従事。2009年よりNPO法人 ETIC に参画後 2015年南三陸町に移住し、地域おこし協力隊を活用した起業家誘致・育成を行うNext Commons Lab南三陸を立ち上げる。その他地域資源プラットフォーム設立準備委員会、復興・創生インターンシップ南三陸事務局等も担当。

参加申込書

WEBからお申し込みの場合

下記URLから参加申込フォームにアクセスの上、必要事項を入力して送信してください。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/91aaaae59490460>

FAX・メールにてお申し込みの場合

(一社)みやぎ連携復興センター (担当 高橋・西館・石塚)

TEL 022-748-4550 FAX 022-748-4552 E-mail renpuku@gmail.com



所属(団体名)			
TEL			E-mail
No.	職名	氏名	希望分科会
1			
2			
3			
4			
5			

事前アンケート

1 復興支援・地域づくり活動の中で感じている課題は何ですか。下記表の中から当てはまるもの全てに○をつけてください。

1. 担い手の世代交代 2. 地域外人材の呼び込み・活用 3. 担い手の育成方法 4. 組織・地域のマネジメント(運営)
5. 組織・地域の将来の計画づくり 6. 資金獲得に向けたノウハウの取得 7. 活動・事業の質の向上
8. 活動・事業の評価方法 9. 既存の連携・ネットワークの維持 10. 新しい連携・ネットワークの形成
11. その他 ()

2 本会でゲストや他の参加者に聞いてみたいことは何ですか。ご自由にお書きください。